

福工大生が新宮町で大活躍！！ 夏休み寺子屋事業とサマーキャンプ



サマーキャンプ参加者全員集合！

本学と包括的連携協定を結んでいる新宮町では、7月下旬から8月末にかけて主に小学生を対象として様々な取り組みが行われました。その中のひとつの事業—寺子屋事業とサマーキャンプ—で本学の学生が運営をサポートしました。

寺子屋事業は、夏休みの子どもたちの居場所づくりや地域ぐるみでの子育て支援を目的として13の行政区で実施されました。内容は、公民館や集会所に集まった子どもたちが宿題をしたり、行政区独自の遊びやプログラムを実施するというものです。本学は、子どもたちをサポートする学生ボランティアと出前授業で寺子屋事業の成功をお手伝いしました。延べ47名の学生ボランティアが勉強を教えたり、遊び相手として活躍しました。出前授業では、吹奏楽団、アカペラサークル、ダンスサークル、FIT女子会の皆さんが日頃の活動を

活かしたパフォーマンス等を行いました。短期大学部の上村先生や学生相談室の古川先生にも小学生向けにアレンジした特別授業を行って頂き、5行政区で9回の出前授業を実施しました。

サマーキャンプでは、5名の学生さんが8月21日から24日の3泊4日の野外活動に参加しました。野外炊飯やキャンドルの集い等を全力でサポート。一緒に過ごす時間が長くなるにつれ子どもたちと打ち解け、別れの時には「バンダナに記念のメッセージを書いてほしい」という子どもたちが列を作ったそうです。こうした学生の活躍に対し、新宮町の住民や職員の方々から感謝のコメントが寄せられ、新宮町の広報誌にも大きく取り上げられ、「是非また来年もお願いしたい」という依頼を受けています。参加した学生の皆さんにはこの場を借りてお礼を申し上げます。大学・地域連携推進室では、地域貢献と共にキャンパスでは得られない学びの場づくりに取り組んでいきます。

本物の音楽に触れる貴重な機会を提供しました。

アカペラサークルによるボイスパーカッション教室

子どもの元気を全身で受け止めて遊びました。



この件のお問い合わせは広報課へ

掲示期間 H-27-157
10月13日～27日